



和歌山県報

発行 和歌山県
和歌山市小松原通一丁目1番地
毎週火、金曜日発行

目次

(取扱課室名) ページ

- 告示
 - 1021 有害図書等の指定 (青少年・男女共同参画課) 1
 - 1022 土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の指定 (砂防課) 2
 - 1023 平成22年和歌山県告示第356号(平成22年度県立近代美術館の入場料)の一部改正 (教育委員会) 3
- 教育委員会告示
 - 7 平成23年度和歌山県立高等学校生徒募集定員 4
- 選挙管理委員会告示
 - 133 政治団体の届出事項の異動の届出 6
 - 134 政治団体の解散の届出 6
 - 135 政治団体の収支報告書の要旨 6
 - 136 政治団体の設立の届出 13
 - 137 参議院和歌山県選挙区選出議員通常選挙における各候補者の選挙運動費用に関する収支報告書の要旨 13
- 公告
 - 第39回採石業務管理者試験の合格者 (砂防課) 14

告 示

和歌山県告示第1021号

和歌山県青少年健全育成条例(昭和53年和歌山県条例第36号)第13条第1項の規定により、有害図書等として、次のものを平成22年10月19日指定した。

平成22年10月29日

和歌山県知事 仁坂吉伸

種別	図書等名	コード番号	発行所名
月刊誌	決定版!XX 11月号	13319-11	ミリオン出版
雑誌	エンジョイ マックス ザベスト VOL.3	08684-11	笠倉出版社
月刊誌	アジアンキング 11月号	11403-11	マイウェイ出版
月刊誌	月刊エンタメ 11月号	02053-11	徳間書店
月刊誌	黄金のGT 11月号	12259-11	晋遊舎
月刊誌	漫画実話ナックルズ 11月号	18421-11	ミリオン出版
月刊誌	実話ドキュメント 11月号	05267-11	竹書房
月刊誌	ブブカ 11月号	17885-11	コアマガジン
月刊誌	実話ナックルズ 11月号	04877-11	ミリオン出版
月刊誌	劇画マッドマックス 11月号	03369-11	コアマガジン

月刊誌	金のEX G.T.R. VOL.9	68462-87	大洋図書
月刊誌	ジェイスパーク 11月号	86257-11	トライマックス
雑誌	愛の体験ベストコレクション あこがれの制服コレクション 11月増刊号	11586-11	竹書房
月刊誌	恋愛白書バステル 11月号	19625-11	宙出版
月刊誌	裏モノJAPAN 11月号	01805-11	鉄人社
月刊誌	アヤ 11月号	18815-11	宙出版
月刊誌	ガッシュ 11月号	12467-11	海王社
月刊誌	キャラセレクション 11月号	02895-11	徳間書店

指定理由

著しく性的感情を刺激し、著しく粗暴性若しくは残忍性を助長し、犯罪を誘発し、又は著しく犯罪性を助長する等、青少年の健全な育成を阻害するおそれがある。

和歌山県告示第1022号

土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律（平成12年法律第57号。以下「法」という。）第6条第1項及び第8条第1項の規定により、次の区域を土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域として指定する。

平成22年10月29日

和歌山県知事 仁坂吉伸

海草郡紀美野町柴目、紀美野町釜滝、紀美野町箕六、紀美野町神野市場、紀美野町樋下及び紀美野町野中地区

1 土砂災害の発生原因となる自然現象の種類

土石流及び急傾斜地の崩壊

2 土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の名称

東谷（1-302-1-007）、堂谷（1-302-1-008）、貴志川右支溪（1-302-1-009）、貴志川右支溪（1-302-1-010）、貴志川右支溪（1-302-1-011）、長谷（1-302-1-012）、梅本川左支溪（1-302-1-021-1）、梅本川左支溪（1-302-1-021-2）、梅本川左支溪（1-302-1-022）、貴志川右支溪（1-302-2-009）、貴志川右支溪（1-302-2-013-1）、貴志川右支溪（1-302-2-013-2）、貴志川右支溪（1-302-2-017）、貴志川右支溪（1-302-2-018）、貴志川右支溪（1-302-2-019）、貴志川右支溪（1-302-2-020-1）、貴志川右支溪（1-302-2-020-2）、貴志川右支溪（1-303-1-014）、貴志川右支溪（1-303-2-015）、貴志川右支溪（1-303-2-016）、貴志川左支溪（1-303-2-068）、西谷（I-492）、東谷（I-494）、向畑（I-495）、箕六（1）（I-547）、箕六（2）（I-548）、神野市場（1）（I-552）、垣内（I-553）、神野市場（3）（I-554）、神野市場（4）（I-555）、垣内（I-558）、柴目（5）（I-3550）、神野市場（5）（I-3568）、神野市場（6）（I-3580）、神野市場（101）（I-90003）、神野市場（102）（I-90004）、樋下（103）（I-90005）、柴目（201）（II-2390）、柴目（202）（II-2406）、柴目（203）（II-2425）、柴目（204）（II-2426）、柴目（205）（II-2427）、柴目（206）（II-2428）、柴目（207）（II-2429）、柴目（208）（II-2432）、動木（206）（II-2434）、柴目（210）（II-2436）、柴目（211）（II-2437）、柴目（212）（II-2438）、柴目（213）（II-2439）、柴目（214）（II-2440）、柴目（215）（II-2441）、柴目（216）（II-2442）、柴目（217）（II-2443）、柴目（218）（II-2444）、柴目（219）（II-2445）、柴目（220）（II-2446）、柴目（221）（II-2447）、柴目（222）（II-2448）、柴目（223）（II-2449）、柴目（224）（II-2450）、柴目（225）（II-2451）、柴目（226）（II-2452）、柴目（227）（II-2453）、柴目（228）（II-2454）、神野市場（201）（II-2665）、箕六（201）（II-2775）、柴目

(229) (Ⅱ-2788)、柴目(230) (Ⅱ-2789)、箕六(101) (Ⅱ-90005)、箕六(102) (Ⅱ-90006)、神野市場(103) (Ⅱ-90007)、樋下(101) (Ⅱ-90008)、神野市場(104) (Ⅱ-90009)、神野市場(105) (Ⅱ-90010)、神野市場(106) (Ⅱ-90011)、樋下(102) (Ⅱ-90012)、箕六(103) (Ⅱ-90013)、柴目(301) (Ⅲ-1323)、柴目(302) (Ⅲ-1325)、柴目(303) (Ⅲ-1331)、柴目(304) (Ⅲ-1332)、柴目(305) (Ⅲ-1333)、柴目(306) (Ⅲ-1334)、柴目(307) (Ⅲ-1335)、柴目(308) (Ⅲ-1341)、柴目(309) (Ⅲ-1342)、柴目(310) (Ⅲ-1343)、柴目(311) (Ⅲ-1344)、柴目(312) (Ⅲ-1345)、野中(302) (Ⅲ-1448)、箕六(301) (Ⅲ-1456)、野中(101) (Ⅲ-90001)

3 土砂災害警戒区域及び土砂災害特別警戒区域の表示

次の図のとおり

4 法第8条第2項に規定する土砂災害警戒区域等における土砂災害防止対策の推進に関する法律施行令(平成13年政令第84号)で定める事項

次の図のとおり

(「次の図」は省略し、その図面を和歌山県県土整備部河川・下水道局砂防課及び海草振興局建設部並びに紀美野町役場に備え置いて縦覧に供する。)

和歌山県告示第1023号

平成22年和歌山県告示第356号(平成22年度県立近代美術館の入場料)の一部を次のように改正し、平成22年11月1日から適用する。

平成22年10月29日

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸

「
2 特別企画展入場料
「日本画が結ぶ心ー平山郁

一般
大学生
高校生以下
県内に在学中の外国人留学生 (外国人就学生を含む。)

「
2 常設展入場料

表中

	個人	団体
一般	340円	270円
大学生	230円	180円
高校生以下	無料	無料
県内に在学中の外国人留学生 (外国人就学生を含む。)	無料	無料

を

3 第64回和歌山県美術展覧会

一般
大学生
高校生以下
県内に在学中の外国人留学生 (外国人就学生を含む。)

4 常設展入場料

一般
大学生
高校生以下
県内に在学中の外国人留学生 (外国人就学生を含む。)

夫追悼展示、小沢道治」展

	個人	団体
	800円	650円
	500円	400円
	無料	無料
生	無料	無料

入場料

	個人	団体
	無料	無料
	無料	無料
	無料	無料
生	無料	無料

に改め、同表備考中「企画展」を「企画展又は特別企画展」に改める。

	個人	団体
	340円	270円
	230円	180円
	無料	無料
生	無料	無料

教育委員会告示

和歌山県教育委員会告示第7号

平成23年度和歌山県立高等学校生徒募集定員を次のように定めた。

平成22年10月29日

和歌山県教育委員会委員長 宮 永 健 史

1 全日制の課程

各高等学校の各学科別の生徒の募集定員は、別表第1のとおりとする。

2 定時制の課程

各高等学校の各学科別の生徒の募集定員は、別表第2のとおりとする。

3 通信制の課程

和歌山県立紀の川高等学校、和歌山県立陵雲高等学校及び和歌山県立南紀高等学校の生徒募集については、別表第3のとおりとする。

平成 23 年度和歌山県立高等学校 学校別・学科別募集定員

別表第 1 (第 1 項関係)
〔全日制の課程〕

学 校 名	学科名 (コース名等)	学級数	定 員
橋 本	普通科	3	120
	※1 普通科 (県立中)	2	80
紀 北 工 業	機械科	2	80
	電気科	2	80
伊 都	システム化学科	1	40
	普通科	4	160
紀 北 農 芸	生産流通科	1	40
	施設園芸科	1	40
	環境工学科	1	40
笠 田	普通科	2	80
	総合ビジネス科	1	40
粉 河	情報処理科	1	40
	普通科	5	200
那 賀	理数科	1	40
	普通科	8	320
貴 志 川	国際科	1	40
	普通科	5	200
和 歌 山 西	人間科学科	1	40
	普通科	4	160
和 歌 山 北	普通科	6	240
	体育科	2	80
和 歌 山	総合学科	6	240
	普通科	6	240
向 陽	※1 環境科学科	2	80
	普通科	3	120
桐 蔭	※1 普通科 (県立中)	2	80
	数理科学科	2	80
和 歌 山 東	普通科	6	240
	普通科	6	240
星 林	国際交流科	1	40
	普通科	6	240
和 歌 山 工 業	機械科	2	80
	電気科	2	80
	化学技術科	1	40
	建築科	2	80
	土木科	1	40
	産業デザイン科	1	40
和 歌 山 商 業	創造技術科	1	40
	ビジネス創造科	8	320

別表第 2 (第 2 項関係)
〔定時制の課程〕

学 校 名	学科名 (コース名等)	学級数	定 員
海 南	普通科 (海南校舎)	3	120
	数養理学科 (海南校舎)	1	40
	普通科 (大成校舎)	2	80
(美里分校)	普通科	1	40
箕 島	普通科 (普通)	3	120
	普通科 (スポーツ)	2	80
	情報経営科	1	40
	機械科	1	40
有 田 中 央	総合学科 (総合)	4	160
	※2 総合学科 (福祉)		
(清水分校)	普通科	1	40
耐 久	普通科	6	240
日 高	普通科	4	160
	※1 総合科学科	2	80
(中津分校)	普通科	1	40
紀 央 館	普通科	4	160
	工業技術科	1	40
南 部	普通科	3	120
	生産技術科	1	40
	園芸科	1	40
(龍神分校)	服飾デザイン科	1	40
	普通科	1	40
田 辺	普通科	6	240
	※1 自然科学科	2	80
田 辺 工 業	機械科	2	80
	電気電子科	2	80
	情報システム科	1	40
神 島	普通科	4	160
	経営科学科	4	160
熊 野	看護科	1	40
	総合学科	4	160
串 本 古 座	普通科 (串本校舎)	2	80
	国際数養科 (串本校舎)	1	40
	普通科 (古座校舎)	2	80
新 宮	普通科	6	240
新 翔	総合学科	4	160
合 計		191	7,640

学 校 名	学 科 名	学級数	定 員	
※3 紀 の 川	普通科	昼間	2	70
		夜間	1	30
粉 河	普通科	夜間	1	40
※3 青 陵	普通科	昼間	2	70
		夜間	1	30
和歌山工業	情報会計科	夜間	1	30
	機械電気科	夜間	1	40
※4 海 南 (本校及び下津分校)	普通科	夜間	1	40
		建築科	夜間	1
耐 久	普通科	夜間	1	40
日 高	普通科	夜間	1	40
※3 南 紀	普通科	昼間	1	35
		夜間	1	30
(周参見分校)	普通科	夜間	1	30
新 宮	普通科	夜間	1	40
合 計		17	605	

※3 単位制高等学校である紀の川、青陵及び南紀(本校)の各高等学校については、定員は40人であるが、転・編入生を受け入れるため、各学級の募集定員は、昼間定時制35人、夜間定時制30人とする。

※4 定時制課程の海南高等学校下津分校は、合格者の希望状況により、学級を開設する。

別表第 3 (第 3 項関係)
〔通信制の課程〕

学 校 名	学 科 名	定 員
紀 の 川	普通科	特に定めない
陵 雲	普通科	
南 紀	普通科	

※1 次の学科についてはそれぞれの県立中学校からの進学者のみとし、県立高等学校入学者選抜による募集は行わない。

- 橋本高等学校普通科のうち2クラス
- 向陽高等学校環境科学科
- 桐蔭高等学校普通科のうち2クラス
- 日高高等学校総合科学科
- 田辺高等学校自然科学科

※2 有田中央高等学校総合学科福祉系列の人数は、26人以内とする。

選挙管理委員会告示

和歌山県選挙管理委員会告示第133号

政治資金規正法（昭和23年法律第194号）第7条第1項の規定による政治団体の届出事項の異動の届出があったので、同法第7条の2第1項の規定に基づき、次のとおり公表する。

平成22年10月29日

和歌山県選挙管理委員会委員長 諸木良介

政治団体の名称	異動事項	新	旧	届出年月日	政党・政治団体の別	備考
自由民主党吉備町支部	主たる事務所の所在地	有田郡有田川町野田351	有田郡有田川町田口364	平成22.9.22	政党支部	
	代表者	上田久夫	生駒友二	平成22.9.22	政党支部	
	会計責任者	生駒雅昭	上田久夫	平成22.9.22	政党支部	
紀の川市仁坂吉伸後援会	主たる事務所の所在地	紀の川市打田1045	紀の川市貴志川町上野山295番地3	平成22.9.22	政治団体	
	代表者	根来公士	中村慎司	平成22.9.22	政治団体	
谷口和樹後援会	代表者	賀城進良	城戸昭夫	平成22.10.5	政治団体	
仁坂吉伸新宮後援会	会計責任者	向井一郎	丹羽生	平成22.10.5	政治団体	

和歌山県選挙管理委員会告示第134号

政治資金規正法（昭和23年法律第194号）第17条第1項の規定による政治団体の解散の届出があったので、同条第3項の規定に基づき、次のとおり公表する。

平成22年10月29日

和歌山県選挙管理委員会委員長 諸木良介

政治団体の名称	代表者の氏名	解散年月日	届出年月日
石井けんじ後援会	梅下友楠	平成22.9.29	平成22.9.30
維新政党・新風和歌山県本部	関佳哉	平成22.10.7	平成22.10.7
関佳哉後援会	門恵一	平成22.10.7	平成22.10.7
全国社会保険推進連盟和歌山支部	岡本功巳	平成22.9.30	平成22.10.12

和歌山県選挙管理委員会告示第135号

政治資金規正法（昭和23年法律第194号）第17条第1項の規定による政治団体の収支報告書を受理したの

で、同法第20条第1項の規定に基づき、その要旨を次のとおり公表する。

平成22年10月29日

和歌山県選挙管理委員会委員長 諸 木 良 介

政治団体の収支報告書(平成19年分)の要旨

(単位:円)

政治団体名	維新政党・新風和歌山県本部	関佳哉後援会	
報告年月日	平成22年10月7日	平成22年10月7日	
資金管理団体の届出をした者の氏名			
資金管理団体の届出に係る公職の種類			
1 収入総額	1,018,701	0	
ア 前年繰越額	1,018,701	0	
イ 本年収入額	0	0	
2 支出総額	390,308	0	
3 収入の内訳	ア 個人の党費・会費 (人)		
	イ 寄附 (ア) (イ)を除く寄附の合計 (a) 個人分 (うち特定寄附) (b) 法人その他の団体分 (c) 政治団体分 (イの寄附のうちあっせんによるもの)		
	(イ) 政党匿名寄附		
	ウ 機関紙誌の発行その他の事業による収入		
	エ 借入金		
	オ 本部又は支部から供与された交付金に係る収入		
	カ その他の収入		
	4 支出の内訳	ア 経常経費 (ア) 人件費 (イ) 光熱水費 (ウ) 備品・消耗品費 (エ) 事務所費	42,531 25,765 16,766
	イ 政治活動費 (ア) 組織活動費 (イ) 選挙関係費 (ウ) 機関紙誌の発行 その他の事業費 (a) 機関紙誌の 発行事業費 (b) 宣伝事業費 (c) 政治資金パーティー 開催事業費 (d) その他の事業費 (エ) 調査研究費 (オ) 寄附・交付金 (カ) その他の経費	347,777 104,562 243,215	
5 資産等の状況 (*印は、資産等を有する場合で内訳を別に掲載)			

政治団体の収支報告書(平成20年分)の要旨

(単位:円)

政治団体名	維新政党・新風和歌山県本部	関佳哉後援会	
報告年月日	平成22年10月7日	平成22年10月7日	
資金管理団体の届出をした者の氏名			
資金管理団体の届出に係る公職の種類			
1 収入総額	628,393	0	
ア 前年繰越額	628,393	0	
イ 本年収入額	0	0	
2 支出総額	0	0	
3 収入の内訳	ア 個人の党費・会費 (人)		
	イ 寄附 (ア) (イ)を除く寄附の合計 (a) 個人分 (うち特定寄附) (b) 法人その他の団体分 (c) 政治団体分 (イの寄附のうちあっせんによるもの)		
	(イ) 政党匿名寄附		
	ウ 機関紙誌の発行その他の事業による収入		
	エ 借入金		
	オ 本部又は支部から供与された交付金に係る収入		
	カ その他収入		
	4 支出の内訳	ア 経常経費 (ア) 人件費 (イ) 光熱水費 (ウ) 備品・消耗品費 (エ) 事務所費	
		イ 政治活動費 (ア) 組織活動費 (イ) 選挙関係費 (ウ) 機関紙誌の発行 その他の事業費 (a) 機関紙誌の 発行事業費 (b) 宣伝事業費 (c) 政治資金パーティー 開催事業費 (d) その他の事業費 (エ) 調査研究費 (オ) 寄附・交付金 (カ) その他の経費	
	5 資産等の状況 (*印は、資産等を有する場合で内訳を別に掲載)		

政治団体の収支報告書(平成21年分)の要旨

(単位:円)

政治団体名	全国社会保険推進連盟和歌山支部	維新政党・新風和歌山県本部	関佳哉後援会	
報告年月日	平成22年1月14日	平成22年10月7日	平成22年10月7日	
資金管理団体の届出をした者の氏名				
資金管理団体の届出に係る公職の種類				
国会議員関係政治団体の区分				
公職の候補者の氏名				
公職の候補者に係る公職の種類				
1 収入総額	86,499	628,393	0	
ア 前年繰越額	56,466	628,393	0	
イ 本年収入額	30,033	0	0	
2 支出総額	48,200	0	0	
3 収入の内訳	ア 個人の党費・会費 (人)			
	イ 寄附 (ア) (イ)を除く寄附の合計 (a) 個人分 (うち特定寄附) (b) 法人その他の団体分 (c) 政治団体分	30,000 30,000 30,000		
	(イの寄附のうちあつせんによるもの)			
	(イ) 政党匿名寄附			
	ウ 機関紙誌の発行その他の事業による収入			
	エ 借入金			
	オ 本部又は支部から供与された交付金に係る収入			
	カ その他の収入	33		
	4 支出の内訳	ア 経常経費 (ア) 人件費 (イ) 光熱水費 (ウ) 備品・消耗品費 (エ) 事務所費		
		イ 政治活動費 (ア) 組織活動費 (イ) 選挙関係費 (ウ) 機関紙誌の発行 その他の事業費 (a) 機関紙誌の 発行事業費 (b) 宣伝事業費 (c) 政治資金パーティー 開催事業費 (d) その他の事業費 (エ) 調査研究費 (オ) 寄附・交付金 (カ) その他の経費	48,200 48,200 5,600 42,600	
5 資産等の状況 (*印は、資産等を有する場合で内訳を別に掲載)				

収入の内訳 (平成 21 年分)

全国社会保険推進連盟和歌山支部

1 寄附の内訳	
〈政治団体からの寄附〉	
年間 5 万円以下のもの	30,000 円
2 その他の収入	
1 件 10 万円未満のもの	33 円

政治団体の収支報告書(平成22年分)の要旨

(単位:円)

政治団体名	石井けんじ後援会	維新政党・新風和歌山県本部	関佳哉後援会	全国社会保険推進連盟和歌山支部	
報告年月日	平成22年9月30日	平成22年10月7日	平成22年10月7日	平成22年10月12日	
資金管理団体の届出をした者の氏名					
資金管理団体の届出に係る公職の種類					
国会議員関係政治団体の区分					
公職の候補者の氏名					
公職の候補者に係る公職の種類					
1 収入総額	0	628,393	0	81,308	
ア 前年繰越額	0	628,393	0	38,299	
イ 本年収入額	0	0	0	43,009	
2 支出総額	0	0	0	81,308	
3 収入の内訳	ア 個人の党費・会費 (人)				
	イ 寄附 (ア) (イ)を除く寄附の合計 (a) 個人分 (うち特定寄附) (b) 法人その他の団体分 (c) 政治団体分 (イの寄附のうちあつせんによるもの)			43,000 43,000 43,000	
	(イ) 政党匿名寄附				
	ウ 機関紙誌の発行その他の事業による収入				
	エ 借入金				
	オ 本部又は支部から供与された交付金に係る収入				
	カ その他の収入			9	
	4 支出の内訳	ア 経常経費 (ア) 人件費 (イ) 光熱水費 (ウ) 備品・消耗品費 (エ) 事務所費			
		イ 政治活動費 (ア) 組織活動費 (イ) 選挙関係費 (ウ) 機関紙誌の発行 その他の事業費 (a) 機関紙誌の 発行事業費 (b) 宣伝事業費 (c) 政治資金パーティー 開催事業費 (d) その他の事業費 (エ) 調査研究費 (オ) 寄附・交付金 (カ) その他の経費			81,308 81,308 9,208 72,100
		5 資産等の状況 (*印は、資産等を有する場合で内訳を別に掲載)			

収入の内訳 (平成 22 年分)

全国社会保険推進連盟和歌山支部

1 寄附の内訳 〈政治団体からの寄附〉 年間 5 万円以下のもの	43,000 円
2 その他の収入 1 件 10 万円未満のもの	9 円

和歌山県選挙管理委員会告示第136号

政治資金規正法 (昭和23年法律第194号) 第6条第1項の規定による政治団体の設立の届出があったので、同法第7条の2第1項の規定に基づき、次のとおり公表する。

平成22年10月29日

和歌山県選挙管理委員会委員長 諸 木 良 介

その他の政治団体

国会議員関係政治団体以外の政治団体

政治団体の名称	代表者の氏名	会計責任者の氏名	主たる事務所の所在地	届出年月日
仁坂吉伸みなべ町後援会	小谷芳正	三前雅信	日高郡みなべ町筋776番地	平成 22. 9. 27
日本勇征会	凡乃正志	山崎正美	田辺市宝来町3-44	平成 22. 10. 1
森れい子後援会	鈴木俊男	森桂子	和歌山市卜半町35番地	平成 22. 10. 5
維新政党・新風 和歌山県本部	関佳哉	門恵一	和歌山市禰宜1341番地の3	平成 22. 10. 7

和歌山県選挙管理委員会告示第137号

平成22年7月11日執行の参議院議員選挙 (和歌山県選挙区) における各候補者の選挙運動費用に関する収入及び支出の報告書の要旨について、公職選挙法 (昭和25年法律第100号) 第192条第1項の規定により、次のとおり公表する。

平成22年10月29日

和歌山県選挙管理委員会委員長 諸 木 良 介

公職の候補者の選挙運動に関する収支報告書要旨

- 1 選挙の種類 平成 22 年 7 月 11 日 執行 参議院議員選挙 (和歌山県選挙区)
- 2 公職選挙法の規定による選挙運動に関する支出の金額の制限額 (法定選挙運動費用額) 34,764,600 円
- 3 報告書の要旨

候補者氏名	島 久美子	所属党派	民主党	期間 6月10日から 9月22日まで 第2回分
出納責任者氏名	島 哲也			

収入	支出			
主たる寄附 (氏名・団体名)	(職業)	(寄附額)	円	人件費 510,000 円
				家屋費 58,817 円
				選挙事務所費 58,817 円

		集合会場費	円
その他の寄附	件	通信費	117,742 円
その他の収入		交通費	6,900 円
今回計		印刷費	2,148,825 円
前回計	5,000,000 円	広告費	379,866 円
総計	5,000,000 円	文具費	420 円
		食糧費	167,098 円
		休泊費	40,800 円
		雑費	50,750 円
		今回計	3,481,218 円
		前回計	590,100 円
		総計	4,071,318 円

	項 目	金 額
支出のうち公費負担相当額	選挙運動用通常葉書の作成	226,800 円
	ビラの作成	662,025 円
	ポスターの作成	1,033,200 円
	選挙事務所の立札及び看板の類の作成	106,776 円
	選挙運動用自動車等の立札及び看板の類の作成	75,600 円
	個人演説会の立札及び看板の類の作成	76,500 円
	計	2,180,901 円

報告書受理年月日	平成 2 2 年 1 0 月 1 日	第 2 回報告分
----------	--------------------	----------

公 告

公 告

採石法（昭和25年法律第291号）第32条の13第1項の規定により平成22年10月8日に実施した第39回採石業務管理者試験の合格者は、次のとおりである。

平成22年10月29日

和歌山県知事 仁 坂 吉 伸

受験番号

- 1
- 3
- 7